

令和3年度第2回桑名市総合教育会議 議事要旨

日 時・場 所	令和3年10月29日（金）正午～1時30分 桑名市役所 3階第2会議室
出 席 者	桑名市長 教育長 教育委員：4名 事務局：10名
議 事 次 第	1. 学校の水泳授業とプールのあり方について 2. 1人1台タブレット活用の現状及び課題について 3. その他
要 旨	<p>1. 学校の水泳授業とプールのあり方について</p> <p>事務局より桑名市総合運動公園第四工区公民連携導入可能性調査の中間報告及び水泳授業におけるインストラクターを活用した民間委託に関する資料に基づいて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的に桑名市全部の小中学校の水泳授業や部活動をどのように賄っていくのか。全体像のイメージはあるのか。 <p>⇒水泳の授業はどこの学校でもあるし、水泳部も中学校9校のうち7校にあるので、授業での指導内容や部活での自主的な活動を保障してあげたい。今後、小中一貫校がどこにどのようなかたちで整備されるかによって変わってくるため、その状況を踏まえて議論していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や保護者の方にどのような説明を行い納得してもらうのか。 <p>⇒移動に時間がかかるデメリットはあるものの、年間の授業回数の割振り方を工夫することで補える。メリットとして、専門知識があるインストラクターに指導を受けることができるため泳力がつく。また、屋内で行うことで熱中症のリスクが軽減されるなど一定の環境が保たれることから、子ども達の負担は少なくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳の教育には泳力をつけるという、いわゆる指導とプールという活動を通じての仲間づくりが重要である。 <p>⇒インストラクターや先生に頼るだけでなく、子ども達が教えたり、教えてもらったりお互いの持ちつ持たれつで力を付けていくことも大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営については、他のスポーツ施設の状況を踏まえて今後検証していく。 ・インストラクターが配置されることは明確に説明する必要がある。 <p>2. 1人1台タブレット活用の現状及び課題について</p> <p>事務局よりリモート等による家庭などでの学びの期間における市内小中学校での1人1台端末を活用した取り組みについて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使用するデジタルの部分を活用しつつアナログの良さを活用していく必要がある。 ・教諭は教材を工夫しており、タブレットを活用することで若い先生が年配の

先生に教えるような場面もある。ベテラン教諭は自信のスタイルや信念はあるものの時代の流れのなかでICTを活用したスタイルに変化して効果を実現するために研究を進めている。ICTを活用し働き方改革につなげていく。

3. その他

事務局より、次回の予定について連絡

(以上)